

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 27 (2016)

## 目 次

### [論 文]

#### 英 語 学

- 構文の意味と言語内外の要因との相互作用—言語理論と教育の接点—……川崎 修一 3

#### イギリス文学

- ハズリットと「抽象的な」ロンドン……藤井 晶宏 25

#### アメリカ文学

- Katherine Anne Porter, “Theft”における盗みを引き起こすもの……加藤 良浩 37

### [翻 訳]

- コニングズビー (第4巻 第5章)……ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 47  
シャーロットをさがして ……ニール・ゲイマン (横山 孝一訳) 53  
人間それとも非人間 ……ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 65

### [エッセイ]

- 忘れられた作家たち (6) Rex Warner (9 March 1905-24 June 1986)……大石健太郎 77

### [諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録 (2015年)……83  
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……93  
欧米言語文化学会役員……96  
第7回年次大会報告……97  
欧米言語文化学会規約……98  
*Fortuna* 投稿規定……100  
執筆者紹介……102  
編集後記……103  
表紙の言葉……小林 英美 108

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 26 (2015)

## 目 次

### [論 文]

#### 英 語 学

- DP 内 there 生起仮説による場所句倒置構文の分析……………小堂 俊孝 3

#### イギリス文学

- 『メアリ・バートン』における父親と娘の階級意識……………吉田 一穂 25  
「音楽家小説」としての *The Picture of Dorian Gray*……………中村 仁美 41

#### アメリカ文学

- キャサリン・アン・ポーター「花咲くユダの木」  
——なぜ主人公ローラは再び眠ることを恐れるのか——……………加藤 良浩 53

#### 比 較 文 学

- Depictions of Hyperreality in *White Noise* and *Nineteen Eighty-Four*…Naoki Kondo 65

### [翻 訳]

- コニングズビー (第4巻 第3章～第4章)  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(杉田 雅子・関田 朋子訳) 81  
小さなメモリアル……………ジェイソン・ジェリーズ(横山 孝一訳) 97

### [エッセイ]

- 忘れられた作家たち (5)  
Katharine Burdekin (Kay Burdekin, Murray Constantine, 1896~1963)…大石健太郎 99

### [諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録 (2014 年)……………105  
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………111  
欧米言語文化学会役員……………114  
第6回年次大会報告……………115  
欧米言語文化学会規約……………116  
*Fortuna* 投稿規定……………118  
執筆者紹介……………120  
編集後記……………121  
表紙の言葉……………小林 英美 124

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 25 (2014)

## 目 次

### 巻 頭 言

- 文学研究のタイプ論あるいは真冬の夜の夢……………松田憲次郎 3

### 特 別 寄 稿

- 二人のイギリス人……………井内雄四郎 5

### [論 文]

#### イギリス文学

- ディケンズの『憑かれた男』を読む——……………水野 隆之 15

#### 英語圏児童文学

- Roles of “Mistress Mary, Quite Contrary” in *The Secret Garden*  
……………Mana Kawashima 21

### [原典研究]

- ウィリアム・サマセット・モーム「帰郷」(“Home”)を読む  
——教室で読む英文学(8)——……………奥井 裕 33  
帰郷——……………ウィリアム・サマセット・モーム(奥井 裕訳) 54  
サマセット・モームの「帰郷」(“Home”)について  
——人生を肯定するモームの温かい面がよく出た傑作——……………奥井 裕 59

### [翻 訳]

- コニングズビー(第3巻 第5章、第4巻 第1章～第2章)  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(杉田 雅子・閑田 朋子訳) 67  
「よそのもの」……………ジェーン・ストーン(横山 孝一訳) 81

### [エッセイ]

- 忘れられた作家たち(4) L.P. ハートリー……………大石健太郎 91  
)  
ふぉーちゅん(1989-2008)・欧米言語文化研究 Fortuna(2009-) 総目次……………95

### [諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録(2013年)……………115  
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………122  
*Fortuna* 投稿規定……………125  
欧米言語文化学会役員……………127  
第5回年次大会報告……………128  
執筆者紹介……………129  
編集後記……………130  
表紙の言葉……………小林 英美 131

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 24 (2013)

## 目 次

### [論 文]

#### 英 語 学

- 英語聖書における外国語の影響……………佐藤 勝 3

#### イギリス文学

- コウルリッジの『生命論』——人と動物を分けるものは何か——……………直原 典子 15  
『ダーバヴィル家のテス』  
——エンジェル・クレラとテスの過去——……………吉田 一穂 33

#### 英語圏児童文学

- 『トムは真夜中の庭で』にみられる伝承童謡の影響……………山田 真 45

### [原典研究]

- ウィリアム・サマセット・モーム「アリとキリギリス」を読む  
——教室で読む英文学(7)——……………奥井 裕 55  
アリとキリギリス……………ウィリアム・サマセット・モーム(奥井 裕訳) 75  
サマセット・モームの「アリとキリギリス」について  
——人生の意味について考えさせられる大人のための寓話——……………奥井 裕 79

### [翻 訳]

- コニングズビー (第3巻 第2章~第4章)  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(杉田 雅子・大竹麻衣子・関田 朋子訳) 87  
乳母車……………ロディ・ドイル(横山 孝一訳) 113

### [エッセイ]

- 忘れられた作家たち(3) エリザベス・テイラー……………大石 健太郎 137

### [諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録(2012年)……………141  
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………147  
*Fortuna* 投稿規定……………152  
欧米言語文化学会役員……………154  
第4回年次大会報告……………155  
執筆者紹介……………156  
編集後記……………157  
表紙の言葉……………小林 英美 160

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 23 (2012)

## 目 次 [論 文]

### 応 用 言 語 学

- 英語場所句倒置構文をめぐる疑問……………山田 七恵 3

### イギリス文学

- 「双子」の想像力の行方 ——エミリとアンの「ゴンドル」詩試論——……………田村 裕二 19  
『オリヴァ・トゥイスト』——二人の悪党たちとその末路——……………吉田 一穂 33

### アメリカ文学

- キャサリン・アン・ポーター「昼酒」における主人公トンプソンの悲劇が示唆するもの  
……………加藤 良浩 45

### 比 較 文 学

- 異文化体験——ラフカディオ・ハーンの場合——……………甲田 亜樹 59  
文学による〈革命〉として——佐藤春夫「美しき町」とホイッスラーの芸術論  
……………山中 千春 1

## [原典研究]

- ローリー・コルウィン「パーカー先生」を読む  
——教室で読む英文学（6）——……………奥井 裕 75  
「パーカー先生」……………ローリー・コルウィン(奥井 裕訳) 93  
ローリー・コルウィンの「パーカー先生」について  
——多様な解釈の可能性を秘めた珠玉の小品——……………奥井 裕 99

## [翻 訳]

- コニングズビー（第2巻 第5章～第7章・第3巻 第1章）  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(大竹麻衣子・杉田 雅子・関田 朋子訳) 117

## [エッセイ]

- 忘れられた作家たち（2）レナード・メリック(1864.2.21~1939.8.7)……………大石 健太郎 145  
『戦争大臣』のこと……………遠藤 徹 149

## [諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録(2011年)……………151  
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………154  
*Fortuna* 投稿規定……………161  
欧米言語文化学会役員……………163  
第3回年次大会報告……………164  
執筆者紹介……………187  
編集後記……………188  
表紙の言葉……………小林 英美 191

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 22 (2011)

## 目 次

### [論 文]

#### 外国語教育学

- The Use of Chance Devices in the Language Classroom……………Elena Ando 3

#### イギリス文学

- 『オリヴァー・トゥイスト』における語り手とオリヴァーの関係について  
……………水野 隆之 21
- 『マーティン・チャズルウィット』  
——利己主義とその影響、そして国際著作権問題——……………吉田 一穂 33

#### アメリカ文学

- Being Politically Incorrect: Paula Vogel and Her Dramaturgy……………Mao Naito 45

### [原典研究]

- ウィリアム・サマセット・モーム「約束」を読む  
——教室で読む英文学(5)——……………奥井 裕 63
- 約束……………ウィリアム・サマセット・モーム(奥井 裕訳) 98
- サマセット・モームの「約束」について……………奥井 裕 105

### [翻 訳]

- コニングズビー(第2巻 第2章~第4章)  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(関田 朋子・杉田 雅子・大竹麻衣子訳) 113
- 親友の手は離さない……………デボラ・シャウス(横山 孝一訳) 133

### [エッセイ]

- 忘れられた作家たち(1) ダヴィッド・ガーネット……………大石健太郎 137

### [諸 報]

- 執筆者紹介……………143
- 年次大会・例会研究発表の記録(2010年)……………144
- 欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………149
- Fortuna* 投稿規定……………154
- 欧米言語文化学会役員……………156
- 第2回年次大会報告……………157
- 編集後記……………158
- 表紙の言葉……………小林 英美 161

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 21 (2010)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- 由良君美氏と美術史……………木村 三郎 3

### [ 論 文 ]

### 英 語 学

- A Reconsideration of the Word Order <To Not Do>  
……………Tadao Nomura / Donald L. Smith 5

- Time-away 構文・結果構文・Way 構文に見られる構文間の関係 ……阿部 明子 17

### イギリス文学

- 『バーナビー・ラッジ』における個人と群集……………吉田 一穂 33

### アメリカ文学

- “My Kinsman, Major Molineux” における一考察  
——Robin の独立への旅を中心に——……………西山 里枝 45

- “The Ambitious Guest” ——未来への希望と忍び寄る運命——……………小松 良江 61

- キャサリン・アン・ポーター「マリア・コンセプション」  
——主人公の曖昧な立場をめぐって——……………加藤 良浩 71

### [ 原 典 研 究 ]

- フィリパ・ピアス『ふしぎなヒマワリ』を読む  
——教室で読む英文学（4）——……………奥井 裕 87

- 『ふしぎなヒマワリ』……………フィリパ・ピアス(奥井 裕訳) 116

- 『ふしぎなヒマワリ』について ……奥井 裕 128

### [ 翻 訳 ]

- コニングズビー（第1巻 第11章・第2巻 第1章）  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(関田 朋子・杉田 雅子・大竹麻衣子訳) 135

- 神様のような人に出会う……………リチャード・セルツァ(横山 孝一訳) 165

- 「つめてくれよ！」……………ジェフリー・パットノウド(横山 孝一訳) 166

- おじ貴のバイオリン……………スティーヴン・バート(横山 孝一訳) 167

### [ エ ッ セ イ ]

- 神秘の島 “ジュラ” ——太古の遺跡の眠る島——……………大石健太郎 171

- 女優ジョディ・フォスターの軌跡  
——父親のいない娘から夫のいない母親へ—— ……横山 孝一 177

- 『ネル』のこと……………遠藤 徹 189

- 執筆者紹介……………191

- 大会・例会研究発表の記録（2009年）……………192

- 欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………196

- Fortuna 投稿規定……………201

- 欧米言語文化学会役員……………203

- 編集後記……………204

- 表紙の言葉……………小林 英美 207

# 欧米言語文化研究 Fortuna No. 20 (2009)

## 目 次

まえがき	植月 恵一郎	1
特別寄稿		
英語力・注釈・作品鑑賞	行方 昭夫	5
サマセット・モームの『作家の手帳』の「序文」を読む	藤野 文雄	7

## [ 論 文 ]

### イギリス文学

『鐘の音』の枠組みについて	水野 隆之	13
十九世紀前半の「公」のロンドン ——ディケンズ、通りそしてコーヒーハウス——	藤井 昌宏	23

### 時事英語

ニュース英語の一考察——そのレトリックについて	田村 裕二	33
-------------------------	-------	----

### 翻 訳 論

『翻訳』についての断片的考察	大石健太郎	47
----------------	-------	----

## [ 原 典 研 究 ]

ウィリアム・サマセット・モーム「物知り屋さん」を読む ——教室で読む英文学(3)——	奥井 裕	55
物知り屋さん	サマセット・モーム(奥井 裕訳)	91
「物知り屋さん」について	奥井 裕	98

## [ 翻 訳 ]

コニングズビー (第1巻 第8章～第10章) ……ベンジャミン・ディズレイリ(関田 朋子・大竹麻衣子・杉田 雅子訳)	105
幸運の写真 ……ローリー・ヴォーター・アレン(横山 孝一訳)	123
小さなガラスのかけら ……ベティ・B・ヤングズ(横山 孝一訳)	125
アルフレッドのなぞの微笑み ……アラン・メイリー(横山 孝一訳)	128
執筆者紹介	133
大会・例会研究発表の記録(2008年)	134
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	137
<i>Fortuna</i> 投稿規定	140
欧米言語文化学会役員	142
編集後記	143
表紙の言葉	小林 英美 146



# ふおーちゅん 第19号(2008)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- 文学への接近法——若き研究者に寄せるささやかな助言……………江野沢一嘉 3

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

- 農耕詩としての『クーパーの丘』——風景と／の教訓……………植月恵一郎 5  
『我らが共通の友』における騙しのテクニック……………水野 隆之 21

#### アメリカ文学

- Imagery in Part One of Jean Toomer's *Cane*……………Naoki Kondo 33

### [ 原典講読研究 ]

- キャサリン・マンスフィールド「カナリア」を読む  
——教室で読む英文学(2)——……………奥井 裕 43  
カナリア……………キャサリン・マンスフィールド(奥井 裕訳) 68  
「カナリア」について……………奥井 裕 73

### [ 翻 訳 ]

- コニングズビー(第1巻 第4章～第7章)  
……………ベンジャミン・ディズレイリ(杉田 雅子・閑田 朋子・大竹麻衣子訳) 79  
あの女……………ローザ・ガイ(横山 孝一訳) 101  
  
例会研究発表の記録(2007年)……………108  
新生言語文化研究会会員 発表著書・論文等一覧……………111  
編集後記……………113  
表紙の言葉……………小林 英美 114

# ふおーちゅん 第18号(2007)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

<i>Cors de Chasse</i> .....秋葉 隆三	3
----------------------------------	---

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

エミリ・ブロンテの詩——死の絶望が生み出した想像世界——.....山本由布子	5
『我らが共通の友』 ——ブラッドリー・ヘッドストーンに見られる引き裂かれた自己——.....吉田 一穂	15
『二都物語』における秘密と語り .....水野 隆之	25

### [ 原典講読研究 ]

カート・ヴォネガット「永遠への長い歩み」を読む ——教室で読む英文学（1）—— .....奥井 裕	37
永遠への長い歩み.....カート・ヴォネガット(奥井 裕訳)	65
「永遠への長い歩み」について.....奥井 裕	73

### [ 翻 訳 ]

コニングズビー（第1巻 第1章～第3章） .....ベンジャミン・ディズレイリ(杉田 雅子・閑田 朋子・大竹麻衣子訳)	77
17歳の死.....ジョン・ベリオ(横山 孝一訳)	99
ウッド夫人現わる .....S・H・バートン(横山 孝一訳)	101
プルート .....ポール・スチュアート(横山 孝一訳)	105
デトロイトへの期待.....アート・バクウォルド(奥井 裕訳)	111
売るなら強気で.....アート・バクウォルド(奥井 裕訳)	113

### [ エッセイ ]

『くくしがるば』誕生秘話.....遠藤 徹	117
例会研究発表の記録（2006年）.....	120
新生言語文化研究会会員 研究発表活動一覧（2006年）.....	123
編集後記.....	126
表紙の言葉.....小林 英美	127

# ふおーちゅん 第17号(2006)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- 飢えて泣く子供の前で……………滝沢 正彦 3  
イギリス留学の思い出——ある日の授業ノート……………広本 勝也 9

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

- 『ボズのスケッチ』——Scenesの空間——……………藤井 晶宏 13  
『ドンビー父子』の世界——断ち切れない関係——……………水野 隆之 23  
自叙伝小説としての *The Professor*  
——William Crimsworthの〈語り〉にみるリアリズム——……………新井 英夫 35  
植民地解放の寓話としての『1984年』……………近藤 直樹 47

#### アメリカ文学

- “The Minister’s Black Veil” ——人間の「宿命」をめぐって——……………熊田 岐子 57  
“Wakefield” ——環境の影響力とは——……………廣瀬 真人 65  
『大理石の牧神』にみる宗教衝突  
——ピューリタンとカトリックの対峙——……………富樫 壮央 75

### [ 翻 訳 ]

- 結婚プレゼント……………ニール・ゲイマン(横山 孝一訳) 83

- 例会研究発表の記録(2005年)……………94  
編集後記……………100  
表紙の言葉……………小林 英美 101

# ふおーちゅん 第16号(2005)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- アイリス・マードックとエロス ……………井内雄四郎 3  
フットボールの醍醐味……………佐藤 義夫 5

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

- 『リトル・ドリッド』における父と娘……………吉田 一穂 7  
「対話」から読む『大いなる遺産』……………水野 隆之 19  
マーガレット・ヘイルの腕  
——エリザベス・ギヤスケル作『北と南』において——……………閑田 朋子 29  
オーウェルのパリ  
——『パリ・ロンドン放浪記』パリ篇について——……………近藤 直樹 39

#### アメリカ文学

- 「ロジャー・マルヴィンの埋葬」—— 一つの見方——……………西山 里枝 49  
“The Artist of the Beautiful”——現実に立ち向かう芸術家——……………廣瀬 真人 63  
ジプチカ——メルヴィルの「新しい」手法——……………奈良裕美子 73  
McCullers の小説と劇をめぐって  
——*The Member of the Wedding* における一考察——……………廣田 純子 85

### [ 書 評 ]

- 斉藤兆史氏の仕事……………水野 隆之 97

### [ 翻 訳 ]

- ガンジーについて思うこと……………ジョージ・オーウェル(奥井 裕訳) 101  
ライ……………ジョイス・マイア(横山 孝一訳) 111  
スペシャル・オリンピック大会……………ディナイエ・アダムズ(横山 孝一訳) 112  
教養のある女性……………クリスティーン・E・ベレリス(横山 孝一訳) 114  
年はとっても夢をもて……………ダン・クラーク(横山 孝一訳) 116  
期末試験で A をとる方法……………トニー・ダンジェロ(横山 孝一訳) 118

- 例会研究発表の記録(2004年)……………122  
編集後記……………129  
表紙の言葉……………小林 英美 130

# ふおーちゅん 第15号(2004)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- Antony and Cleopatra* を読む……………関谷 武史 3

### [ 論 文 ]

### 英 語 教 育

- 大学英語教育の諸問題——教養英語復興のために——……………奥井 裕 15

### イギリス文学

- A Midsummer Night's Dream* 試論——love in idleness とは——……………大住有里子 43  
“I, poor monster” ?  
——*Twelfth Night*における Viola の男装に関する一考察(1)——……………堤 裕美子 55  
*Cymbeline* はいかにして生まれたか? ………………小山 誠子 67  
*Oliver Twist*  
——“fallen woman” の改心とキリストによる救済のヴィジョン——……………吉田 一穂 75  
『ドンビー父子』——水と音の流動する世界——……………藤井 晶宏 87  
*A Pair of Blue Eyes* における誤読の作用について……………杉本 宏昭 99  
*Howards End* の曖昧な結末——その可能性について——……………杉本久美子 107  
『1984年』における自然描写と政治観 ………………近藤 直樹 119  
「そよ風にゆれるカーテン」における比喩表現によって描かれる真実……………加藤 良浩 131  
Dialectic of the Past and the Present in French-Canadian and Japanese-British Writings  
——Comparison of Anne Hébert and Kazuo Ishiguro……………Tomoko KOYAMA 143

### アメリカ文学

- ジャック・ロンドンの文学と「体験」の迫力  
——『地球的作家ジャック・ロンドンを読み解く』を通して——……………横山 孝一 155

### [ 書 評 ]

- 本名信行『世界の英語を歩く』(集英社新書、2003年11月)……………大西 章夫 163  
遠藤徹『姉飼』(角川書店、2003年11月)……………横山 孝一 167

### [ 翻 訳 ]

- 男を殺すということ……………ジャック・ロンドン(横山 孝一訳) 175

### [ エッセイ ]

- 第10回日本ホラー小説大賞を受賞して……………遠藤 徹 187  
例会研究発表の記録……………190  
編集後記……………196  
表紙の言葉……………小林 英美 197

# ふおーちゅん 第14号(2003)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- エミール・ホワイトの思い出……………本田 康典 3  
談論風発のトポスの夢……………圓月 勝博 6

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

- The Winter's Tale* に見る家父長制への不安——Oracle を中心に——……………小山 誠子 9  
子は西の海に沈む——転機としての『リシダス』……………大西 章夫 21  
*The Haunted Man*  
——クリスマスの本におけるレドローの内的覚醒の意味——……………吉田 一穂 35  
*Eliza Cook's Journal* における階級と労働者と女性 (I) ………………閑田 朋子 45  
『恋する女たち』におけるグドランの視覚的想像力……………田中はるな 55  
オーウェルとディラン・トマス ………………大石健太郎 65  
肉体の存在感——『カタロニア讃歌』試論—— ………………近藤 直樹 71

#### アメリカ文学

- 信頼できない語りのもたらす効果  
——『響きと怒り』におけるジェイソン・コンプソンの人物像——……………加藤 良浩 79

### [ 翻 訳 ]

- ジョン・B……………マイケル・ノーマン(横山 孝一訳) 89  
行商人の復讐 ………………マイケル・ノーマン(横山 孝一訳) 90  
這う女 ………………ベス・スコット(横山 孝一訳) 92

- 例会研究発表の記録 ………………96  
編集後記……………103  
表紙の言葉……………小林 英美 104

# ふおーちゅん 第13号(2002)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- ワーズワス・風景・言文一致……………桑子 利男 3  
英文学をどう書き換えるか?……………田口 哲也 6

### [ 論 文 ]

#### 英 語 教 育

- 大学に於ける教養英語の意義……………奥井 裕 9

#### イギリス文学

- Nicholas Nickleby* における演劇の意味……………吉田 一穂 53  
*Scenes of Clerical Life* における時代設定・時間設定……………閑田 朋子 61  
フレディ・マリNZとは何者か  
——『死者たち』に見る弱者の視点——……………木ノ内敏久 69

#### アメリカ文学

- 「憑かれた心」を読む  
——ホーソン作品における時間と空間の考察——……………堀切 大史 77  
作家 Flannery O'Connor と二つのアイデンティティ  
——*Wise Blood* にみる南部とカトリック——……………中村 文紀 87  
『ライ麦畑の迷路を抜けて』にみる J・D・サリンジャー  
——ウーナの面影を追いつづける隠遁作家——……………横山 孝一 99

### [ 書 評 ]

- 鈴木孝夫『英語はいらない! ?』……………大西 章夫 105

### [ 翻 訳 ]

- 月を動かす……………セアラ・ジョーダン(横山 孝一訳) 111  
思い出のつまった瓶……………メアリー・ロウ・ヴァード(横山 孝一訳) 113  
待雪草……………セアラ・マッキャン(横山 孝一訳) 115

### [ エッセイ ]

- ニューヨーク同時多発テロ遭遇記……………山内 圭 117  
  
例会研究発表の記録……………126  
編集後記……………133  
表紙の言葉……………小林 英美 134

# ふおーちゅん 第12号(2001)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

アメリカ文学研究と自分で小説を書くこと

- 精神風土とぼくの文学——……………濱野 成生 3  
「教訓」について……………笠原 順路 6

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

- 『荒涼館』での大法院の描写を巡って……………水野 隆之 9  
How Historians Have Used Social Problem Novels as Primary Sources  
……………Tomoko Kanda 23  
D.H. Lawrence, “Second Best” 試論  
——ロレンス初期の短編小説に見られる「再生」の意味——……………井上 径子 35

#### アメリカ文学

オーストラリア原住民、アボリジニの苦難

- 問題作 *Mutant Message Down Under* を読む——……………横田由起子 45

### [ 書 評 ]

- 船橋洋一『あえて英語公用語論』……………大西 章夫 59

### [ 翻 訳 ]

- 明かりはつけるな……………アラン・メイリー(横山 孝一訳) 67  
雪の赤ちゃん……………テリー・ジョーンズ(横山 孝一訳) 71  
プリシラといくじなし……………リチャード・ペック(横山 孝一訳) 74

- 例会口頭研究発表要旨……………78  
編集後記……………84

表紙 : Radcliffe Camera:

Oxford 大学図書館 Bodleian Library の一部



# ふおーちゅん 第10・11号(2000)

## 目 次

「ふおーちゅん」の21世紀——十周年に寄せて……………会長・植月恵一郎 1

### 特 別 寄 稿

文学研究をふり返ってみると……………野中 涼 5

Brendan Kennelly and P. B. Shelley in Dublin……………水之江有一 7

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

開かれた自然と閉じられた自然

——17世紀イギリス詩における自然の変化——……………茅原 道昭 9

*Mary Barton: the Truthful Novel Possessed by Mammon*……………Tomoko Kanda 19

“[the] second edition” revised

——『嵐が丘』第二世代の物語をめぐって——……………田村 裕二 33

途上の『二都物語』……………藤井 晶宏 41

#### アメリカ文学

イエージー・コジンスキーの『異端の鳥』

——テキストが内包する様々な差異について——……………新宅 美樹 53

### [ 書 評 ]

見市雅俊『ロンドン=炎が生んだ世界都市』(講談社、1999年)……………大西 章夫 65

M.H.ニコルソン『円環の破壊』小黒和子訳(みすず書房、1999年)……………植月恵一郎 69

### [ 翻 訳 ]

ブルーベルと紅葉……………アラン・メイリー(横山 孝一訳) 75

ラッキー・ルーク……………ポール・スチュアート(横山 孝一訳) 77

カタツムリ観察者……………パトリシア・ハイスミス(横山 孝一訳) 81

『ふおーちゅん』創刊号～前号総目次(1989-97.専門別時代順)……………88

例会口頭研究発表要旨……………94

編集後記……………104

表紙：本誌命名の由来、坪内逍遙博士記念演劇博物館(早稲田大学構内)

\* Shakespeare 時代の劇場 The Fortune を模して昭和3年完成。

# ふおーちゅん 第9号(1997)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

無 題	鈴木 建三	3
庭園と荒野	辻 裕子	5
〈ハヌカーの祭り〉	西山 清	7

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

アンドルー・マーヴェルの〈『嵐』〉 ——「バーミューダ諸島」について——	植月 惠一郎	9
ジョージ・ハーバートにおける罪と不安 ——‘One cunning bosome-sinne’の一考察——	石黒 恭代	19
『失樂園』において善に対する調和をもたらす役割の逆転と回復	江藤あさじ	45
Blake: ‘Gwin, King of Norway’——若き詩人の描いた流血——	斉藤 貴子	59
‘Sleep and Poetry’ と ‘I Stood Tip-toe...’ に描かれる主題の探求	岩大路 賀子	71
『若き日の芸術家の肖像』におけるナショナルな情念の限界 ——祖国・人種・階級を巡って——	木ノ内 敏久	87

#### アメリカ文学

ポルターガイストという素材——映画と『ビラヴィッド』——	横山 孝一	97
------------------------------	-------	----

#### 比 較 文 化

文学の中の〈衛生〉空間	横田由紀子	107
-------------	-------	-----

### [ 書 評 ]

Steiger, Brad and Sherry Hansen Steiger, <i>Mother Mary Speaks to Us</i> . New York: Signet, 1997.	横山 孝一	127
---	-------	-----

### [ エッセイ ]

『失樂園』の出産——Milton’s Cottageの再発見——	大西 章夫	129
THE END OF EVANGELION——母なるものと作者——	横山 孝一	133
例会口頭研究発表要旨		144
編集後記		150

# ふおーちゅん 第8号(1996)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- エクセントリックとは……………松島 正一 3  
ロゴスとミメシス……………剣持 武彦 5

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

- Herbert におけるエロスとアガペー——愛の双方向性について—— ……石黒 恭代 7  
『エンディミオン』第一巻の構造分析  
——支配的イメージ群析出の試み——……………小林 正弘 21  
代理的自己実現の手段としての「物語」  
——『フランケンシュタイン』をめぐる一考察——……………遠藤 徹 41  
『亡命者たち』試論——リチャードの疑惑——……………木ノ内敏久 51  
『恋する女たち』研究——ジェラルドの悲劇——……………池田 史彦 61

#### アメリカ文化

- ファンダメンタリズムとは何か  
——アメリカ文化とハルマゲドン——……………横山 孝一 71

- 西村匠史さんを悼む……………小松 良江 79

- 例会口頭研究発表要旨 ……82

- 編集後記 ……88

表紙：マックス・エルンスト『百頭女』

# ふおーちゅん 第7号(1995)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- 「冒険」としての批評……………佐伯 彰一 3  
文学作品と向かい合う——『蠅の王』によせて——……………東郷 秀光 7

### [ 論 文 ]

#### 応 用 言 語 学

- Evaluating the Cognitive Code-Learning Theory……………Kenji TANI 11

#### イギリス文学

##### 擬人法の変容

- ～キーツの擬人法をめぐる～……………加賀 岳彦 19  
“Sleep and Poetry”における睡眠と覚醒……………藤原 雅子 31  
『嵐が丘』——キャサリンとヒースクリフの子供時代と人格形成……………小松 良江 39  
チャールズ・ディケンズの『ホリデイ・ロマンス四部作』  
(*Holiday Romance in Four Parts*) 第二部を読む……………杉本 一郎 49  
『土曜の夜と日曜の朝』研究  
——アーサー・シートンについての一考察——……………横田由起子 59

#### アメリカ文学

- The Narrators in *Absalom, Absalom!*……………Tomoko MURAKAMI 69

### [ エッセイ ]

- さくら・サクラ・桜……………横田 肇 79  
《笑う》ゼリー、あるいはゼリー主義宣言……………遠藤 徹 81

- 編集後記……………96

表紙：ジャン＝フランソワ・ミレー 《糸紡ぎ、立像》

# ふおーちゅん 第6号(1994)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- 気負い込んだアメリカ留学……………井上 時男 1  
八月の光の中で……………柳井 幸雄 3

### [ 論 文 ]

#### 英 語 科 教 育 法

- Rhetorical Patterns in Student Skits :  
Cross-Cultural Differences……………Rika HANAMITSU 7  
英語スピーチの授業を振り返って……………小松 良江 23

#### 英 語 学

- The Impact of Chomsky's Work on Thought about Language Teaching  
……………Kenji TANI 33

#### イギリス文学

- 'This is no part of thy play'*  
——道徳劇あるいは世俗劇としての『人類』——……………加藤 誠 45  
不動点としてのジェルサレム……………遠藤 徹 57  
キーツの詩法：ソネットからオードへ  
キーツの詩形式の変遷の一考察……………加賀 岳彦 69  
「おれ」と「やつら」の戦争——「長距離走者の孤独」論……………横田由起子 83

#### アメリカ文学

- ハーンの「一目惚れ」の思想  
——「お貞の話」をめぐる——……………小倉 慶郎 95  
80年代ミニマリズム  
——アン・ビーティエの世界——……………宍戸絵里香 107

- 編集後記……………120

表紙：シジスモンド・ファンティ 《『<sup>フォーチュン</sup>運命の勝利』の扉絵》

# ふおーちゅん 第5号(1993)

## 目 次

ポレミックなあいさつ

——会名改称、『ふおーちゅん』創刊五周年に寄せて——……………会長・植月 恵一郎 1

### 特 別 寄 稿

「黒い森」とローマン主義……………新井 明 2

ウルトラマンにおけるアントロポセントリズム……………佐藤 治夫 6

## [ 論 文 ]

### イギリス文学

*‘Three mile out of hell’*

——『軽蔑屋ヒック』における擬似的悪徳と真の悪徳——……………加藤 誠 6

Growth of a Poet’s Mind and Consistency in Watery Scenes in “Spots of Time”

……………Hidemi KOBAYASHI 23

*Oliver Twist* (1838) について……………杉本 一郎 40

### アメリカ文学

“William Wilson” の同級生の正体について……………竹内 一郎 47

Milton で解く *The House of the Seven Gables* ……………小松 良江 55

ラフカディオ・ハーン<sup>ラフカディオ・ハーン</sup>の日本理解

——明治期来日外国人の日本人観を比較して——……………小倉 慶郎 66

言語の発芽——Henry Miller と自動筆記法——……………松田憲次郎 76

## [ エッセイ ]

「目の不自由な」琵琶法師……………大西 章夫 90

大学改革と自己改革……………横田 肇 92

編集後記……………96

表紙：マイケル・ファレル「<sup>フォーチュン</sup>幸運の車輪」(1964)

# ふおーちゅん 第4号(1992)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

言葉の非力……………	三浦 修	2
出 会 い……………	品田 一良	4

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

<i>'I will make merry whiles I may'</i> ——『青春の幕間劇』における善と悪、聖と俗、現世と来世——……………	加藤 誠	6
『マクベス』における樹木のイメージ……………	越智 敏之	25
自然と人為の調和と葛藤——庭として見たミルトンの楽園像——……………	大西 章夫	37
夕暮れの子供たちと「私」 ——明暗の心象と「大人」と「子供」の観念の断絶をめぐって——……………	小林 英美	54
ロマンスからリアリティへ キーツの『秋に寄せる』を巡って……………	加賀 岳彦	59
都市と人間 チャールズ・ディケンズ <i>Nicholas Nickleby</i> 試論 ……………	杉本 一郎	74
“The Road from Colonus” 研究——E.M. Forster とギリシャ——……………	内山 知子	86
ジョージ・オーウェル序論——オーウェルの社会主義の出発点—— ……………	奥井 裕	95
『権力と栄光』——ウィスキー神父の列聖の可能性についての一考察——……………	秋本 和子	110

### [ 翻 訳 ]

H. エリス『性心理学』(2)——ウォルト・ホイットマン——……………	横田 肇・編訳	118
-------------------------------------	---------	-----

### [ エッセイ ]

ことばをめぐる断章(2)……………	横田 肇	124
-------------------	------	-----

編集後記……………		128
-----------	--	-----

表紙：アルブレヒト・デューラー 《メレンコリア I》

# ふおーちゅん 第3号(1991)

## 目 次

### 特 別 寄 稿

- 平井正穂氏の『イギリス名詩選』を読む……………出口 保夫 2  
ふおーちゅんのこと……………三宅 鴻 4

### [ 論 文 ]

#### イギリス文学

##### *'And they be small*

- Everyman* のプロローグとエピローグの特徴について——……………加藤 誠 7  
ミルトンの楽園像をめぐる一考察  
——ダンテの「地上楽園」像と比較して——……………大西 章夫 25  
*Lyrical Ballads* における母子の心象  
——“Mad Mother”の心象の構成要素についての一考察——……………小林 英美 40  
Victorianism の批判者 R. L. Stevenson……………竹内 一郎 52

#### アメリカ文学

##### 『ヒュー・セルウィン・モーバリー』の構造

- 前半VIIの詩を中心に——……………萩原 輝 59  
The Contingent or Involuntary Allegory :  
an Aspect of Automatic Writing in Henry Miller……………Kenjiro MATSUDA 68

### [ 翻 訳 ]

- Jerome Weidman 「父は暗闇に座る」……………神山 高行・訳 88  
ハヴェロック・エリス 『性心理学』(1)  
——「イギリス史における同性愛」——……………横田 肇・編訳 93

### [ エッセイ ]

- ことばをめぐる断章……………横田 肇 108  
編集後記……………111



# ふお一ちゅん 第2号(1990)

## 目 次

ごあいさつ……………植月恵一郎 1

### 特 別 寄 稿

《断想》古稀を迎えて……………日高 八郎 2  
外国語と自己主張……………井内雄四郎 5

## [ 論 文 ]

### 英 文 学

*Everyman* 上演における ‘doubling’ について……………加藤 誠 7  
*Everyman* 劇における愚行の喜劇的効果……………越智 敏之 21  
『ハムレット』小考——To be or not to be の解釈を巡って——……………神山 高行 30  
ミルトンの楽園描写の原形に関する一考察  
——聖書の‘gan’と‘pardēs’ の‘παραδεισός’ への融合をめぐって——……………大西 章夫 35  
文学用語としての想像力と空想力……………笹川 浩 43

### 米 文 学

The Style of Lafcadio Hearn……………Yoshiro OGURA 47  
短編集 *The Burning House* (1982) 概観  
——Ann Beattie の虚無感と動的エネルギー——……………宍戸絵里香 56

## [ エッセイ ]

中国文学者への注文……………横田 肇 62

編集後記……………65

表紙 : Book of Common Prayer. His Majesty's Printers, London, 1662.

(版下提供 : 出口保夫・早大教育学部教授)

# ふお一ちゅん 創刊号(1989)

## 目 次

発刊の辞 .....宮崎 洋 1

### 特別寄稿

読むこと .....野中 涼 2

英文学研究雑感 .....出口 保夫 4

苦情と拍手 .....松坂ヒロシ 6

## [ 論 文 ]

### 英 語 学

音韻変化概説 I .....宮崎 洋 7

### 英 文 学

『ハムレット』第一・四つ折本テキストの可能性

——第四独白の例をもとに—— .....加藤 誠 11

『難題』——その形式と本質 .....越智 敏之 21

ミルトンの楽園描写の原形をめぐる一考察

——クセノポンの『アナバシス』の楽園描写と比較して—— .....大西 章夫 37

## [ 翻 訳 ]

W. B. イェイツ・作『モサダ』 .....横田 肇・訳 45

## [ エッセイ ]

学問の中立性 .....横田 肇 57

編集後記 .....59

# 歴代編集委員

## 第26号~第27号

編集代表 奥井 裕

副編集長 大石健太郎、田村裕二、野村忠央

編集委員 阿部明子、大森夕夏、加藤良浩、川崎修一、近藤直樹、藤原 愛

## 第24号~第25号

編集代表 加賀岳彦

副編集長 大石健太郎、奥井 裕

編集委員 大森夕夏、加藤良治、近藤直樹、田村裕二、野村忠央

## 第22号~第23号

編集代表 加賀岳彦

副編集長 大石健太郎、奥井 裕

編集委員 大森夕夏、加藤良治、近藤直樹、田村裕二、中村文紀、野村忠央

## 第20号~第21号

編集代表 加賀岳彦

副編集長 大石健太郎、奥井 裕

編集委員 大森夕夏、近藤直樹、田村裕二、中村文紀

## 第19号

編集代表 加賀岳彦

副編集長 大石健太郎、奥井 裕

編集委員 大森夕夏、小林正弘、近藤直樹、中村文紀

## 第16号~第18号

編集代表 加賀岳彦

副編集長 大石健太郎、奥井 裕

編集委員 小林正弘、近藤直樹、中村文紀

## 第14号~第15号

編集代表 横山孝一

編集委員 小林正弘、新宅美樹、田村裕二

## 第12号~第13号

編集代表 横山孝一

編集委員 小林正弘、新宅美樹、田村裕二、水野隆之

## 第9号～第11号

編集代表 横山孝一

編集委員 池田史彦、小泉裕二、小林正弘、田村裕二、谷 憲治

## 第8号

編集代表 遠藤 徹

編集委員 小泉裕二、谷 憲治、横田由紀子、横山孝一

## 第7号

編集代表 小松良江

編集委員 遠藤 徹、小泉裕二、谷 憲治、横田由紀子、横山孝一

## 第6号

編集代表 宍戸絵里香

編集委員 小松良江、竹内一郎、村上知子、横田由紀子、横山孝一

## 第5号

編集代表 横田 肇

編集委員 加賀岳彦、杉本一郎、長谷部龍文

## 第4号

編集代表 加藤 誠

編集委員 加賀岳彦、神山高行、小林英美

## 第3号

編集代表 飯塚 聡

編集委員 神山高行、小林英美、森田信也

## 第2号

編集代表 笹川 浩

編集委員 奥井 裕、越智敏之、篠原俊吾

## 創刊号

編集代表 大西章夫

編集委員 奥井 裕、越智敏之、宮崎 洋